



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

東京都では4月24日までの予定だったリバウンド警戒期間が5月22日まで延長になりました。4月15日以降PCR陽性者数の実行再生産数が1を切って減少傾向が続いていましたが、ゴールデンウィーク明けはやや増加傾向です。ゴールデンウィークの疲れが出て風邪をひいた方もいらっしゃると思います。風邪は適切に対応すれば3～4日で改善しますので、消化の良い食事と睡眠時間をしっかりとって身体を休めましょう。

～感染性胃腸炎について～

ここの所、胃腸炎がトップを維持しています。嘔吐、下痢、食欲不振などがみられ、お腹のかげ（Stomach Flu）とも言われます。ほとんどがウイルス性で、何十種類もあります。この中で症状が比較的強いものがノロウイルスやロタウイルス、アデノウイルスです。これらのウイルスは容易に伝染するため、しばしば家族全員に移ります。乳幼児では嘔吐や下痢が頻繁だと脱水症状を起こすことがありますので、経口補水液などをこまめに与えましょう。嘔吐が止まらない、ぐったりする、顔色が悪い、ぼーっとしている、目がうつろなどの症状がある時は、医療機関を受診しましょう。

表1：4月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎(アノ2含む)	85
2	溶連菌	81
3	新型コロナウイルス	12
4	咽頭アデノウイルス	5
5	突発性発疹	4
6	伝染性膿痂疹(とびひ)	3
7	おたふくかぜ	1

あんず通信バックパ-は
クリニックホームページからご覧になれます。
<https://ssn-clinic.net/>

～あんずからのお知らせとお願い～

- ★**空き状況**を Web で確認出来るようになっていました。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。
- ★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

～新型コロナワクチン副反応について～

実際、新型コロナワクチンの副作用はほかのワクチンと比べて多いのでしょうか、少ないのでしょうか。表2に代表的なワクチンと比較をしてみました。このデータは厚労省のホームページからどなたでもご覧になれます。

2013年、子宮頸がんワクチンで重篤な副反応が出た際、子宮頸がんワクチンによって亡くなった方はいませんでしたが積極的勧奨が中止となり、ほとんどの接種対象者が接種を見送る事態になりました。一方、新型コロナワクチンでは因果関係は不明ですが、重篤副反応が6933名、1667名が死亡と報告されています。

表2：その他のワクチンの副反応報告状況（医療機関報告）
厚労省令和4年発表（平成25年4月1～令和3年12月31日報告分）

ワクチンの種類	接種延べ人数	副反応	重篤な副反応	死亡
MRワクチン	22,329,595	129 (0.001%)	228 (0.001%)	0
四種混合ワクチン	32,566,370	786 (0.002%)	378 (0.001%)	0
子宮頸がんワクチン	2,716,560 (販売開始から累計)	604 (0.022%)	218 (0.0080%)	0
季節性インフルエンザワクチン	6550万人 (R2.10～R3.9)	318 (0.00049%)	104 (0.00016%)	3 (0.0000046%)
日本脳炎ワクチン	37,446,752	638 (0.002%)	268 (0.0007%)	0
新型コロナワクチン	2億4768万110 (R3.2～R4.4)	32,688 (0.00013%)	6933 (0.00028%)	1667 (0.0000067%)

病児保育室あんずでの

★新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

文責：清水マリ子

